

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|----------|----------|-----|
| 102-46 | 高等学校 | 情報 | 情報の表現と管理 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 7 実教 | 情報 702 | 情報の表現と管理 | | |

1. 編修の基本方針

- (1) 構成・配列は、おおよそ学習指導要領の構成・配列によった。
- (2) 第2章「メディアの特性とその表現」では、コンピュータ等の情報機器やアプリケーションソフトウェアを活用する能力を身に付けさせるねらいから、実習を伴う例題を適宜設定した。
- (3) 第2章「メディアの特性とその表現」では、文字や図形等の單元ごとの学習内容だけでなく、各内容を組み合わせた例題や演習問題を掲載するなど、それぞれの内容を関連付けられるよう配慮した。
- (4) 各節で学んだ内容の応用となるような実習課題を演習問題として節末に配置した。
- (5) 基礎的・基本的な知識を定着させるねらいから、章ごとに学習した内容の確認となる問題を章末問題として用意した。
- (6) 第2章5節「データサイエンスとデータの表現」では、基本的なデータサイエンスの手法を、表計算ソフトウェアによる実習を通して学べるように説明した。
- (7) 第2章6節「情報の発信」では、学校現場、および一般での普及の点から、プレゼンテーションソフトウェアは、Microsoft社のPowerPointを念頭に置いて説明した。
- (8) 文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェアは、学校現場、および一般での普及の点から、Microsoft社のWord, Excelを念頭に置いて説明した。
- (9) 見返し1～3では、カラーページを最大限に活かし、本文ではわかりにくい色にかかわる内容を取り上げた。
- (10) 見返し4では、学習の補助をねらいとして、プレゼンテーション用のスライドやグラフの表現技法の工夫について紹介した。
- (11) 見返し5～6では、カラーページを最大限に活かし、画像処理の内容に関連して、コンピュータを用いた様々な画像処理を紹介した。
- (12) 学習上の便宜を図るため、巻末には「著作権法抜粋」「重要用語のまとめと解説」を紹介した。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|------------------|---|--|
| 第1章 情報社会と情報の表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの変化を学ぶ単元で，情報モラルに関連した記述をするなど，道徳心を培えるように配慮した(第1号)。 ・生徒に身近な例を，イラストを用いて取り上げることで，学習内容と生活とが関連付けられるよう配慮した(第2号)。 | <p>p. 7</p> <p>p. 9, 11</p> |
| 第2章 メディアの特性とその表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・「情報の表現」では，様々なソフトウェアの特徴を取り扱い，幅広い知識が身に付くように配慮した(第1号)。 ・生徒に身近な例を，イラストを用いて取り上げることで，学習内容と生活とが関連付けられるように配慮した(第2号)。 ・男女平等の観点から，イラストの男女比に偏りがないように配慮をした(第3号)。 ・公共の精神を養えるように，情報を発信する際のコミュニケーションの基礎について適宜取り上げた(第3号)。 ・環境に配慮できるように，教材に校内美化などを取り入れた(第4号)。 ・日本の文化を意識出来るように，日本で開発された技術を積極的に取り上げた(第5号)。 | <p>p. 18～p. 142</p> <p>p. 28, p. 74, p. 75, p. 116</p> <p>p. 114～141</p> <p>p. 138～141</p> <p>p. 118～p. 127</p> <p>見返し3, p. 66</p> |
| 第3章 情報の管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで用いる文書例などを取り扱うことで，職業への関心を促せるように配慮した(第2号)。 ・生徒に身近な例を，イラストを用いて取り上げることで，学習内容と生活とが関連付けられるように配慮した(第2号)。 | <p>p. 144～p. 158</p> <p>p. 146, p. 180</p> |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| | | | | |
|----------------|----------------|----------|----------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 102-46 | 高等学校 | 情報 | 情報の表現と管理 | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 7 実教 | 情報 702 | 情報の表現と管理 | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

情報を適切に表現・管理するための基礎能力を身に付けられるように、例題形式で情報を表現・管理する技法が学べるようにするなどの工夫をした。また、各項目については、相互に関連を図ることができるよう関連ページを付記した。

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 簡 所 | 配当 時数 |
|------------------------|-------------------------|---------------|----------|
| 1章1節 メディアと情報の表現 | (1) ア 情報社会と情報の表現 | p. 6～p. 9 | 2 |
| 1章2節 情報社会における情報の表現 | (1) ア 情報社会と情報の表現 | p. 10～p. 15 | 2 |
| 2章1節 文字・図解による表現 | (1) イ メディアの特性とその表現 | p. 18～p. 27 | 4 |
| 2章2節 音による表現 | (1) イ メディアの特性とその表現 | p. 28～p. 39 | 5 |
| 2章3節 静止画による表現 | (1) イ メディアの特性とその表現 | p. 40～p. 73 | 14 |
| 2章4節 動画による表現 | (1) イ メディアの特性とその表現 | p. 74～p. 85 | 5 |
| 2章5節 データサイエンスとデータの表現 | (1) ウ データサイエンスとデータの表現 | p. 86～p. 113 | 11 |
| 2章6節 情報の発信 | (1) エ 情報の発信とコミュニケーション | p. 114～p. 137 | 10 |
| 2章7節 コミュニケーションの基礎 | (1) エ 情報の発信とコミュニケーション | p. 138～p. 141 | 2 |
| 3章1節 情報の管理とドキュメンテーション | (2) ア 情報の管理とドキュメンテーション | p. 144～p. 159 | 7 |
| 3章2節 コンピュータによる情報の管理と活用 | (2) イ コンピュータによる情報の管理と活用 | p. 160～p. 167 | 3 |
| 3章3節 情報の保護とセキュリティ | (2) ウ 情報の保護とセキュリティ | p. 166～p. 181 | 5 |
| 計 | | | 70 |